

注3

大学番号：071

[令和2年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

意見伺い

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科
理工学専攻（修士課程）

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人高知大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人企画課

職名・氏名 ヤマ ウチ マサル
山 内 勝

電話番号

（夜間）

F A X

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院総合人間自然科学研究科 修士課程

＜理工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人高知大学

(2) 大学名

高知大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒780-8520

高知県高知市曙町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当無し		
学長	(サクライ カツシ) 櫻井克年 (平成30年4月)		
研究科長	(イワサキ コウゾウ) 岩崎貢三 (令和2年4月)		
専攻長	(ツエ ヤスヒコ) 津江保彦 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
大学院総合人間自然科学研究科 理工学専攻 修士(理学) 修士(理工学)	理学関係 工学関係	2年	55人	年次人	110人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	55	人	1.08倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	67	(-)			
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	64	(-)			
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	59	(-)			
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	58	(-)			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.08				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2年次	/		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
	/		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
3年次	/		/		-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
	/		/		-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
4年次	/		/		/		-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
	/		/		/		-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	- 人	- 人	平成28年度	人	人	
平成29年度	- 人	- 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	- 人	- 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	- 人	- 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	58 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{58} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院総合人間自然科学研究科 修士課程 理工学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
通研究科共	リサーチプロポーザル	1-2前後	2			33	29	15	6		
	小計(1科目)	-	2			33	29	15	6		
専攻共通科目	理工学特論Ⅰ	1前	1			1			1		5
	理工学特論Ⅱ(数物情報系)	1前		1		11					
	理工学特論Ⅲ(生物・化学生命系)	1前		1		13					
	理工学特論Ⅳ(地球・防災系)	1前		1		8					
	数学序論	1前		2		4	3				
	物理学序論	1前		2		4	3	1	2		
	生物学序論	1前		2		7	8	1			
	情報科学序論	1前		2		4	5	1			
	化学生命理工学序論	1前		2		6	4	5			
	地球環境防災学序論	1前		2		4					
	小計(10科目)	-	1	15		33	23	8	2		5
研究指導	理工学特別研究	1前-2後	8			33	29	15	6		3
	小計(1科目)	-	8			33	29	15	6		3
コース別専攻科目	数学物理学Ⅰ	1-2前		2		1					
	数学物理学Ⅱ	1前		2			1				
	小計(2科目)	-		4		1	1				
	大域解析学特論	1-2前		2			1				
	微分方程式特論	1-2前		2			1				
	力学系特論	1-2後		2		1					
	関数論特論	1-2後		2		1					
	幾何学特論	1-2後		2		1					
	応用幾何学特論	1-2後		2		1					
	位相幾何学特論	1-2前		2							1
	ホモトピー論特論	1-2前		2							1
	代数学特論	1-2後		2		1					
	代数幾何学特論	1-2後		2		1					
	抽象代数学特論	1-2前		2			1				
	応用代数学特論	1-2前		2			1				
	統計数理学特論	1-2前		2		1					
	統計モデル論特論	1-2前		2		1					
	応用確率論特論	1-2後		2			1				

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
通研究科共	リサーチプロポーザル	1-2前後	2			34	29	15	6		
	小計(1科目)	-	2			34	29	15	6		
専攻共通科目	理工学特論Ⅰ	1前	1			1			1		5
	理工学特論Ⅱ(数物情報系)	1前		1		11					
	理工学特論Ⅲ(生物・化学生命系)	1前		1		13					
	理工学特論Ⅳ(地球・防災系)	1前		1		8					
	数学序論(未開講)	1前		2		4	3				
	物理学序論(未開講)	1前		2		4	3	1	2		
	生物学序論	1前		2		7	8	1			
	情報科学序論(未開講)	1前		2		4	5	1			
	化学生命理工学序論(未開講)	1前		2		6	4	5			
	地球環境防災学序論(未開講)	1前		2		4					
	小計(10科目)	-	1	15		33	23	8	2		5
研究指導	理工学特別研究	1前-2後	8			34	29	15	6		3
	小計(1科目)	-	8			34	29	15	6		3
コース別専攻科目	数学物理学Ⅰ	1-2前		2		1					
	数学物理学Ⅱ	1前		2			1				
	小計(2科目)	-		4		1	1				
	大域解析学特論	1-2前		2			1				
	微分方程式特論	1-2前		2			1				
	力学系特論	1-2後		2		1					
	関数論特論	1-2後		2		1					
	幾何学特論	1-2後		2		1					
	応用幾何学特論	1-2後		2		1					
	位相幾何学特論	1-2前		2							1
	ホモトピー論特論	1-2前		2							1
	代数学特論	1-2後		2		1					
	代数幾何学特論	1-2後		2		1					
抽象代数学特論	1-2前		2			1					
応用代数学特論	1-2前		2			1					
統計数理学特論	1-2前		2		1						
統計モデル論特論	1-2前		2		1						
応用確率論特論	1-2後		2			1					

	確率過程特論	1・2後	2		1				
	小計(16科目)	—	32	4	3				1
専門科目 (物理学系科目)	応用電磁気学特論	1前	2	1					
	量子多体系物理学特論	1前	2	1					
	統計力学特論	1前	2	1					
	磁性物理学特論	1前	2	1					
	遷移金属酸化物物性特論	1前	2		1				
	無機材料科学特論	1前	2			1			
	現代物性科学特論	1前	2		1				
	計算機物理学特論	1後	2				1		
	量子場物理学特論	1前	2					1	
	物性実験特論	1前	2	1	2	1			
	小計(10科目)	—	20	4	2	1	2		
ゼミナール科目	数学ゼミナールⅠ	1通	2	4	3				
	数学ゼミナールⅡ	2通	2	4	3				
	物理学ゼミナールⅠ	1通	2	4	3	1	2		
	物理学ゼミナールⅡ	2通	2	4	3	1	2		
	小計(4科目)	—	8	8	6	1	2		
生物科学コース 専門科目	植物系統分類学特論	1前	2	1	1				
	植物生態学特論	1後	2		2				
	保全生態学特論	1前	2			1			
	細胞生理学特論	1後	2		1				
	細胞微細形態学特論	1前	2		1				
	数理生態学特論	1前	2				1		
	動物生理学特論	1後	2	1	1				
	魚類形態学特論	1後	2	1					
	魚類分類学特論	1前	2	1					
	海洋生態学特論	1後	2		1				
	進化古生態学特論	1後	2	1					
	堆積地質学特論	1前	2	1					
	分子古生物学特論	1後	2		1				
	比較生化学特論	1前	2	1		1			
	種子植物分類学特論	1前	2						2
	有用植物学特論	1前	2						3
	小計(16科目)	—	32	7	8	3			3
ゼミナール科目	生物学ゼミナールⅠ	1通	2	7	8	3			3
	生物学ゼミナールⅡ	2通	2	7	8	3			3
	小計(2科目)	—	4	7	8	3			3

	確率過程特論	1・2後	2		1				
	小計(16科目)	—	32	4	3				1
専門科目 (物理学系科目)	応用電磁気学特論	1前	2	1					
	量子多体系物理学特論	1前	2	1					
	統計力学特論	1前	2	1					
	磁性物理学特論	1前	2	1					
	遷移金属酸化物物性特論	1前	2		1				
	無機材料科学特論	1前	2			1			
	現代物性科学特論	1前	2		1				
	計算機物理学特論	1後	2				1		
	量子場物理学特論	1前	2					1	
	物性実験特論	1前	2	1	2	1			
	小計(10科目)	—	20	4	2	1	2		
ゼミナール科目	数学ゼミナールⅠ	1通	2	4	3				
	数学ゼミナールⅡ	2通	2	4	3				
	物理学ゼミナールⅠ	1通	2	4	3	1	2		
	物理学ゼミナールⅡ	2通	2	4	3	1	2		
	小計(4科目)	—	8	8	6	1	2		
生物科学コース 専門科目	植物系統分類学特論	1前	2	1	1				
	植物生態学特論	1後	2		2				
	保全生態学特論	1前	2			1			
	細胞生理学特論	1後	2		1				
	細胞微細形態学特論	1前	2		1				
	数理生態学特論	1前	2				1		
	動物生理学特論	1後	2	1	1				
	魚類形態学特論	1後	2	1					
	魚類分類学特論	1前	2	1					
	海洋生態学特論	1後	2		1				
	進化古生態学特論	1後	2	1					
	堆積地質学特論 (未開講)	1前	2	1					
	分子古生物学特論	1後	2		1				
	比較生化学特論	1前	2	1		1			
	種子植物分類学特論	1前	2						2
	有用植物学特論	1前	2						3
	小計(16科目)	—	32	7	8	3			3
ゼミナール科目	生物学ゼミナールⅠ	1通	2	7	8	3			3
	生物学ゼミナールⅡ	2通	2	7	8	3			3
	小計(2科目)	—	4	7	8	3			3

情報科学コース	集積回路設計特論	1後	2	1					
	高性能コンピューティング特論	1前	2	1					
	並列分散システム特論	1後	2		1				
	計算機アーキテクチャ特論	1後	2		1				
	デジタル回路特論	1前	2						1
小計(5科目)	—	10	2	2					1
専門科目(ソフトウェア科学系科目)	知能ソフトウェア特論	1前	2	1					
	機械学習論特論	1前	2	1					
	ネットワークアプリケーション特論	1前	2		1				
	データベース論特論	1前	2						1
	マルチメディア工学特論	1前	2						1
	知能システム工学特論	1後	2						1
小計(6科目)	—	12	2	1					3
専門科目(数理情報学系科目)	数理幾何学特論	1前	2		1				
	アルゴリズム論特論	1前	2		1				
	離散数学特論	1後	2			1			
	シミュレーション特論	1前	2						1
	光情報工学特論	1前	2						1
小計(5科目)	—	10		2	1				2
ゼミナール科目	情報科学ゼミナールⅠ	1通	2	4	5	1			
	情報科学ゼミナールⅡ	2通	2	4	5	1			
	小計(2科目)	—	4	4	5	1			
化学生命理工学コース	生体分子化学特論	1前	2	1					
	機能物質化学特論	1後	2	1					
	配位化学特論	1前	2			1			
	溶液反応化学特論	1前	2	1					
	機能材料化学特論	1前	2			1			
	錯体化学特論	1後	2	1					
	結晶物理化学特論	1前	2		1				
	触媒化学特論	1前	2			1			
	有機金属化学特論	1後	2			1			
	分離化学特論	1後	2			1			
	有機構造物性化学特論	1後	2				1		
	光物質変換化学特論	1後	2			1			
	超分子化学特論	1後	2				1		
	生化学特論	1後	2		1				
細胞分子工学特論	1後	2	1						

情報科学コース	集積回路設計特論	1後	2	1					
	高性能コンピューティング特論	1前	2	1					
	並列分散システム特論	1後	2		1				
	計算機アーキテクチャ特論	1後	2		1				
	デジタル回路特論	1前	2						1
	光情報工学特論	1前	2						1
小計(6科目)	—	12	2	2					2
専門科目(ソフトウェア科学系科目)	知能ソフトウェア特論	1前	2	1					
	機械学習論特論	1前	2	1					
	ネットワークアプリケーション特論	1前	2		1				
	データベース論特論	1前	2						1
	マルチメディア工学特論	1前	2						1
	知能システム工学特論	1後	2						1
小計(6科目)	—	12	2	1					3
専門科目(数理情報学系科目)	数理幾何学特論	1前	2		1				
	アルゴリズム論特論	1前	2		1				
	離散数学特論	1後	2			1			
	シミュレーション特論	1前	2						1
小計(4科目)	—	8		2	1				1
ゼミナール科目	情報科学ゼミナールⅠ	1通	2	4	5	1			
	情報科学ゼミナールⅡ	2通	2	4	5	1			
	小計(2科目)	—	4	4	5	1			
化学生命理工学コース	生体分子化学特論	1前	2	1					
	機能物質化学特論	1後	2	1					
	配位化学特論	1前	2			1			
	溶液反応化学特論	1前	2	1					
	機能材料化学特論	1前	2			1			
	錯体化学特論	1後	2	1					
	結晶物理化学特論(未開講)	1前	2		1				
	触媒化学特論	1前	2			1			
	有機金属化学特論	1後	2			1			
	分離化学特論	1後	2			1			
	有機構造物性化学特論	1後	2				1		
	光物質変換化学特論	1後	2			1			
	超分子化学特論	1後	2				1		
	生化学特論	1後	2		1				
細胞分子工学特論	1後	2	1						

	発生生物学特論	1後	2		1				
	有機合成化学特論	1後	2		1				
	構造生物化学特論	1前	2	1					
	遺伝子工学特論	1前	2				1		
	小計(19科目)	—	38	6	4	5	4		
ゼミナール科目	化学生命理工学ゼミナールⅠ	1通	2	6	4	5	4		
	化学生命理工学ゼミナールⅡ	2通	2	6	4	5	4		
	小計(2科目)	—	4	6	4	5	4		
地球環境防災学コース 専門科目(自然科学分野専攻科目)	地殻変動学特論	1後	2	1					
	乱流物理学特論	1前	2	1					
	付加体物性学特論	1後	2	1					
	鉱物学特論	1前	2		1				
	地震地質学特論	1前	2		1				
	地震テクトニクス特論	1前	2		1				
	火成岩岩石学特論	1後	2		1				
	降水気象学特論	1前	2			1			
	地質構造解析特論	1前	2			1			
	気候システム学特論	1後	2			1			
	古海洋学特論	1前	2	1					
	地球惑星電磁気学特論	1後	2	1					
	海底地質構造学特論	集中	2						1
	海底物理探査学特論	集中	2						1
	実験岩石物性学特論	集中	2						1
小計(15科目)	—	30	5	4	3			3	
専門科目(防災技術分野専攻科目)	斜面防災工学特論	1前	2	1					
	構造工学特論	1前	2	1					
	地盤工学特論	1後	2	1					
	耐震工学特論	1前	2		1				
	水理学特論	1後	2		1				
	木質構造学特論	1前	2			1			
	都市計画学特論	1後	2			1			
小計(7科目)	—	14	3	2	2				
ゼミナール科目	地球環境防災学ゼミナールⅠ	1通	2	8	6	5			
	地球環境防災学ゼミナールⅡ	2通	2	8	6	5			
	小計(2科目)	—	4	8	6	5			
合計(125科目)	—	11	241	33	29	15	6		18

	発生生物学特論	1後	2		1				
	有機合成化学特論	1後	2		1				
	構造生物化学特論	1前	2	1					
	遺伝子工学特論	1前	2				1		
	小計(19科目)	—	38	6	4	5	4		
ゼミナール科目	化学生命理工学ゼミナールⅠ	1通	2	6	4	5	4		
	化学生命理工学ゼミナールⅡ	2通	2	6	4	5	4		
	小計(2科目)	—	4	6	4	5	4		
地球環境防災学コース 専門科目(自然科学分野専攻科目)	地殻変動学特論	1後	2	1					
	乱流物理学特論	1前	2	1					
	付加体物性学特論	1後	2	1					
	鉱物学特論	1前	2		1				
	地震地質学特論	1前	2		1				
	地震テクトニクス特論	1前	2		1				
	火成岩岩石学特論	1後	2		1				
	降水気象学特論	1前	2			1			
	地質構造解析特論	1前	2			1			
	気候システム学特論	1後	2			1			
	微古生物学特論	1後	2			1			
	古海洋学特論	1前	2	1					
	地球惑星電磁気学特論	1後	2	1					
	海底地質構造学特論	集中	2						1
	海底物理探査学特論	集中	2						1
実験岩石物性学特論	集中	2						1	
小計(16科目)	—	32	6	4	3			3	
専門科目(防災技術分野専攻科目)	斜面防災工学特論	1前	2	1					
	構造工学特論	1前	2	1					
	地盤工学特論	1後	2	1					
	耐震工学特論	1前	2		1				
	水理学特論	1後	2		1				
	木質構造学特論	1前	2			1			
	都市計画学特論	1後	2			1			
小計(7科目)	—	14	3	2	2				
ゼミナール科目	地球環境防災学ゼミナールⅠ	1通	2		9	6	5		
	地球環境防災学ゼミナールⅡ	2通	2		9	6	5		
	小計(2科目)	—	4		9	6	5		
合計(126科目)	—	11	243	34	29	15	6		18

卒業要件及び履修方法

<p>【学部卒院生】</p> <p>研究科共通科目 ・「リサーチプロポーザル」の1科目2単位を必修</p> <p>専攻共通科目 ・「理工学特論Ⅰ」の1科目1単位を必修 ・「理工学特論Ⅱ(数物情報系)」「理工学特論Ⅲ(生物・化学生命系)」「理工学特論Ⅳ(地球・防災系)」から1科目1単位を選択必修 ・「○○学序論」は所属コース開講の科目は選択不可</p> <p>研究指導科目 ・「理工学特別研究」の1科目8単位を必修</p> <p>各コース科目 ・各コースのゼミナール科目「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」を2科目4単位必修 ・専門科目から7科目14単位以上修得 ・数学物理学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「数学物理学概論Ⅰ」「数学物理学概論Ⅱ」「他分野系科目群」の中から少なくとも1科目2単位を修得 ・情報科学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「計算システム科学系科目」「ソフトウェア科学系科目」「数理情報学系科目」それぞれから少なくとも1科目2単位ずつを修得 ・地球環境防災学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「自然科学分野専攻科目」「防災技術分野専攻科目」それぞれから少なくとも1科目2単位を修得</p> <p>以上の要件を満たし、合計30単位以上の修了要件科目の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文審査に合格すること。</p> <p>【社会人院生】</p> <p>研究科共通科目 ・「リサーチプロポーザル」の1科目2単位を必修</p> <p>専攻共通科目 ・専門科目のうち各コースで「序論」となっている1科目2単位を必修</p> <p>研究指導科目 ・「理工学特別研究」の1科目8単位を必修</p> <p>各コース科目 ・各コースのゼミナール科目「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」を2科目4単位必修 ・専門科目から7科目14単位以上修得 ・数学物理学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「数学物理学概論Ⅰ」「数学物理学概論Ⅱ」「他分野系科目群」の中から少なくとも1科目2単位を修得 ・情報科学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「計算システム科学系科目」「ソフトウェア科学系科目」「数理情報学系科目」それぞれから少なくとも1科目2単位ずつを修得 ・地球環境防災学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「自然科学分野専攻科目」「防災技術分野専攻科目」それぞれから少なくとも1科目2単位を修得</p> <p>以上の要件を満たし、合計30単位以上の修了要件科目の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文審査に合格すること。</p>

卒業要件及び履修方法

<p>【学部卒院生】</p> <p>研究科共通科目 ・「リサーチプロポーザル」の1科目2単位を必修</p> <p>専攻共通科目 ・「理工学特論Ⅰ」の1科目1単位を必修 ・「理工学特論Ⅱ(数物情報系)」「理工学特論Ⅲ(生物・化学生命系)」「理工学特論Ⅳ(地球・防災系)」から1科目1単位を選択必修 ・「○○学序論」は所属コース開講の科目は選択不可</p> <p>研究指導科目 ・「理工学特別研究」の1科目8単位を必修</p> <p>各コース科目 ・各コースのゼミナール科目「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」を2科目4単位必修 ・専門科目から7科目14単位以上修得 ・数学物理学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「数学物理学概論Ⅰ」「数学物理学概論Ⅱ」「他分野系科目群」の中から少なくとも1科目2単位を修得 ・情報科学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「計算システム科学系科目」「ソフトウェア科学系科目」「数理情報学系科目」それぞれから少なくとも1科目2単位ずつを修得 ・地球環境防災学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「自然科学分野専攻科目」「防災技術分野専攻科目」それぞれから少なくとも1科目2単位を修得</p> <p>以上の要件を満たし、合計30単位以上の修了要件科目の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文審査に合格すること。</p> <p>【社会人院生】</p> <p>研究科共通科目 ・「リサーチプロポーザル」の1科目2単位を必修</p> <p>専攻共通科目 ・専門科目のうち各コースで「序論」となっている1科目2単位を必修</p> <p>研究指導科目 ・「理工学特別研究」の1科目8単位を必修</p> <p>各コース科目 ・各コースのゼミナール科目「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」を2科目4単位必修 ・専門科目から7科目14単位以上修得 ・数学物理学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「数学物理学概論Ⅰ」「数学物理学概論Ⅱ」「他分野系科目群」の中から少なくとも1科目2単位を修得 ・情報科学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「計算システム科学系科目」「ソフトウェア科学系科目」「数理情報学系科目」それぞれから少なくとも1科目2単位ずつを修得 ・地球環境防災学コースにおいては、専門科目の履修に当たり、「自然科学分野専攻科目」「防災技術分野専攻科目」それぞれから少なくとも1科目2単位を修得</p> <p>以上の要件を満たし、合計30単位以上の修了要件科目の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文審査に合格すること。</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

・認可時の遵守事項を受け、コース別専門科目 情報科学コース 専門科目（数理情報学系科目）に配置されていた「光情報工学特論」の科目区分を、同コース 専門科目（計算システム科学系科目）に変更。（2）
 ・カリキュラム充実のため、「微古生物学特論」を追加。令和2年1月教員審査済。（2）
 ・科目内容・研究指導の充実のため、「リサーチプロポーザル」、「理工学特別研究」、「地球環境防災学ゼミナールⅠ」、「地球環境防災学ゼミナールⅡ」に教員を1名（教授・岩井雅夫）を追加。令和2年1月教員審査済み。（2）

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	122 科目	0 科目	125 科目	3 科目 [0]	123 科目 [1]	0 科目 [0]	126 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<table border="1"><tr><td style="text-align: center;"><h2>該当なし</h2></td></tr></table>	<h2>該当なし</h2>
<h2>該当なし</h2>	

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{125} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	451,584㎡	0㎡	0㎡	451,584㎡				
	運動場用地	65,901㎡	0㎡	0㎡	65,901㎡				
	小 計	517,485㎡	0㎡	0㎡	517,485㎡				
	そ の 他	1,573,787㎡	0㎡	0㎡	1,573,787㎡				
	合 計	2,091,272㎡	0㎡	0㎡	2,091,272㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		130,560㎡ 130,503㎡ (130,560㎡) -(130,503㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	130,560㎡ 130,503㎡ (130,560㎡) -(130,503㎡)	建物面積変更による増(2)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	12室	9室	161室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	総合人間自然科学研究科 理工学専攻			84 83 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能のため、大学全体の数	
	総合人間自然科学研究科 理工学専攻	720,700 [189,881] (716,971 [188,718])	30,049 [15,898] (33,649 [19,104])	10,121 [10,121] (10,505 [10,505])	2,637 (2,521)	4,196 (4,394)	0 (0)		
	計	720,700 [189,881] (716,971 [188,718])	30,049 [15,898] (33,649 [19,104])	10,121 [10,121] (10,505 [10,505])	2,637 (2,521)	4,196 (4,394)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	9,557㎡	988		793,833					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	4,794㎡	柔・剣道場、弓道場、テニスコート、プール等を有している							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	高知大学									備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部									平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人間文化学科	4	-	-	-	学士 (文学) 学士 (学術)	-	-	-			※平成28年度改組に伴い募集停止
国際社会 コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (学術)	-	-	-			※平成28年度改組に伴い募集停止
社会経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学) 学士 (学術)	-	-	-			※平成28年度改組に伴い募集停止
人文社会科学部									平成28	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人文社会科学科	4	275	3年次 10	1,120	学士 (文学) 学士 (学術) 学士 (経済学)	1.05	1.02	-			
教育学部									平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
学校教育教員 養成課程	4	130	-	520	学士 (教育)	1.05	1.03	-			
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教養) 学士 (学術)	-	-	-			※平成27年度改組に伴い募集停止
理学部									平成19	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-			※平成29年度改組に伴い募集停止
応用理学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-			※平成29年度改組に伴い募集停止
理工学部									平成29	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
数学物理学科	4	55	3年次 2	224	学士 (理学)	1.02	1.01	-			
情報科学科	4	30	3年次 2	124	学士 (理工学)	1.06	1.03	-			
生物科学科	4	45	3年次 2	184	学士 (理学)	1.06	1.02	-			
化学生命理工学科	4	70	3年次 2	284	学士 (理工学)	1.05	1.01	-			
地球環境防災学科	4	40	3年次 2	164	学士 (理工学)	1.04	1.02	-			
医学部									平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	
医学科	6	110	2年次 5	625	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2			※医学部医学科の入学定員のうち15名は、令和3年までの措置。
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護学) 学士 (学術)	1.00	1.00	-			
農学部									平成19	高知県南国市物部乙200	
農学科	4	-	-	-	学士 (農学) 学士 (学術)	-	-	-			※平成28年度改組に伴い募集停止

農林海洋科学部									平成28	高知県南国市物部乙200	
農林資源環境科学科	4	90	-	360	学士(農学)	1.03	1.02	-			
農芸化学科	4	45	-	180	学士(農学) 学士(学術)	1.02	1.00	-			
海洋資源科学科	4	65	-	260	学士(海洋科学)	1.04	1.00	-			
地域協働学部									平成27	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
地域協働学科	4	60	-	240	学士(地域協働学)	1.05	1.15	-			
総合人間自然科学研究科									平成20		
人文社会科学専攻	2	8	-	16	修士(文学) 修士(学術) 修士(経済学)	0.52	0.75	令和2		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教育学専攻	2	12	-	24	修士(教育学) 修士(学術)	0.54	0.75	-		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学専攻	2	-	-	-	修士(理学) 修士(学術)	-	-	-		高知県高知市曙町二丁目5番1号	※令和2年度改組に伴い募集停止
理工学専攻	2	55	-	110	修士(理学) 修士(理工学)	1.05	1.05	-		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医科学専攻	2	15	-	30	修士(医科学) 修士(公衆衛生学) 修士(学術)	0.76	0.73	-		高知県南国市岡豊町小蓮	
看護学専攻	2	12	-	24	修士(看護学) 修士(学術)	1.03	0.91	-		高知県南国市岡豊町小蓮	
農学専攻	2	-	-	-	修士(農学) 修士(学術)	-	-	-		高知県南国市物部乙200	※令和2年度改組に伴い募集停止
農林海洋科学専攻	2	55	-	110	修士(農学) 修士(海洋科学)	0.63	0.63	-		高知県南国市物部乙200	
地域協働学専攻	2	3	-	6	修士(地域協働学)	1.00	1.00	-		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教職実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士(専門職)	0.86	1.00	-		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
応用自然科学専攻	3	6	-	18	博士(理学) 博士(学術)	0.88	0.50	-		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医学専攻	4	30	-	120	博士(医学)	0.65	0.66	-		高知県南国市岡豊町小蓮	
黒潮圏総合科学専攻	3	6	-	18	博士(学術)	0.27	0.00	-		高知県南国市物部乙200	
大学全体	-	1,292	2年次 5 3年次 30	5,051	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・教授として、岩井雅夫（担当科目数：5科目）を採用。（2）令和2年1月教員審査受審済み。・兼任教員の退職（下方晃博）により、兼任講師として採用に変更。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
8 名	6 名	0 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
33	29	15	6	83	0	34	29	15	6	84	0
(33)	(29)	(15)	(6)	(83)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
82	1	0				83	1	0			
(82)	(1)	(0)				(83)	(1)	(0)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
34	29	15	6	84	0	34	29	15	6	84	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
83	1	0				83	1	0			
[1]	[0]	[0]				[1]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{84}{83} = 101.2\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{84} = 0\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \#DIV/0!\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
該当無し										
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
該当無し										
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{21} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
該当無し										
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	「光情報工学特論」を 数理情報学系科目とし て配置しているが、数 理情報学の区分の内容 としては十分ではない ため、科目の内容を改 めるか、科目区分を改 めること。	遵守事項 本遵守事項を受け、「光 情報工学特論」の科目区分 を、計算システム科学系科 目に変更した。(2)	履行済
認 可 時 (令和元年)	外国人留学生の日本語 能力の基準として、日 常生活が営める程度と 定めているが、入学時 に当該基準を求めるの か、あるいは、修了時 に当該基準を求めるの か、さらに、当該基準 の評価方法についても 不明確であるため、学 生の不利益とならない よう、学生に示す際は 明確に示すこと。	遵守事項 本専攻が、外国人留学生 の日本語能力の基準として 設定している「日常生活が 営める程度」とは、入学時 に求めるものであることか ら、私費外国人留学生特別 選抜の学生募集要項におい て、「日常生活が営める程 度の日本語力を持つ者であ ることが必要」である旨明 示した。 また、評価方法について も、同募集要項において 「面接時に判断する」旨を 明示した。(2)	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院総合人間自然科学研究科 修士課程 理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>第一学期の授業について、 講義・演習科目はオンラインで実施 実験・実習科目は6月以降集中形式で実施</p> <p>なお、以上変更内容等は、全て新型コロナウイルス感染拡大に係る対応措置である。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学専攻内部質保証委員会

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

委員会は、次の委員をもって組織する。

(1) 委員長 副専攻長

(2) 委員 各コース (数学物理学コースにあつては各分野) 専任担当の代表教授 1 名

c 委員会の審議事項等

(1) 教育に関する自己点検・改善に関する事項等

(2) 教育の質保証に関する事項

理工学専攻内部質保証委員会内規

(令和 2 年 2 月 2 6 日 理工学専攻設置準備専門委員会承認)

(趣旨)

第 1 条 この内規は、高知大学大学院総合人間自然科学研究科理工学専攻内部質保証委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(任務)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議等を行う。

(1) 理工学専攻の教育に関する自己点検・改善に関する事項

(2) 理工学専攻の教育の質保証に関する事項

(3) その他、委員会が必要と認めた事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次の委員を持って組織する。

(1) 理工学専攻学務委員会委員

第 4 条 委員会に委員長を置き、理工学専攻学務委員会委員長をもって充てる。

(会議)

第 5 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 委員が、やむを得ない理由により出席できないときは、代理者を出席させることができる。

3 代理者は、委員の職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第 6 条 委員会において必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

附 則

この内規は、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 理工学的視点を持つための教員FD活動（実施予定）
- ・ アドバイザー教員に対する教員FD活動（複数回実施予定）
- ・ 研究指導の確認

b 実施方法

- ・ 理工学専攻専任教員のためのFD講演会
- ・ 研究指導計画書の提出（4月）、研究指導報告書の提出（3月）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FDは理工学部教授会前に年複数回開催予定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD講演会を踏まえ、各教員が授業改善に繋げる
研究指導の進捗を、指導計画書（4月提出）・報告書（3月提出）に基づき指導教員の研究指導改善に繋げる

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 学期末に実施予定あり

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 実施結果は教員に個別に開示し、次年度以降の授業改善に資する

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当無し

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 令和3年12月に公表予定。

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和3年度に大学機関別認証評価（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。